

## ウインターコスモス

分類：キク科センダングサ属 半耐寒性多年草(0℃以上)

学名：*Bidens* spp.

別名：キクザキセンダングサ、ビデンス

原産地：北アメリカ、メキシコ

英名：bur-marigold、Smooth beggartick

### 【特徴】

北風が吹くころでも、ふんわりと優しい色で咲くかわいらしい花です。コスモスとは別の種類ですが、花の咲いている姿が似ているので、ウインターコスモスと言う名前がついています。ちょうど、コスモスの花のシーズンが終わり、入れ替わるようにウインターコスモスの花が咲き始めます。寒くなってからも花つきは衰えません。株元に広がる羽状の濃緑の葉や花茎がしっかりしていて、コスモスに比べると硬い印象を受けます。

属名の *Bidens*(ビデンス)は、ラテン語の bi(二)+dens(歯)が語源で、実に2本の歯のようなとげがあることに由来しています。ビデンス自体は200種類ほどもあり、ウインターコスモスと呼ばれるものは数種あります。開花期は10月から12月くらいです。現在流通するものは這性タイプ(*Bidens aurea* 横張りで矮性のもの)と高性タイプ(*Bidens laevis*)があります。開花期、草丈に関しては品種によってだいぶ違います。強健で、耐寒・耐暑性もあり、よく茂ります。極端な乾燥だけを避けます。土質なども選びません。しかし、放任しておくと茎が伸びすぎて2mくらいになる時もありますので、夏には刈り込むようにします。寒風に当たると傷むので、寒冷地では保護が必要です。

### 【品種】

誠心(白)、飛驒微笑(黄)、飛驒笑顔(レモン色と白の2色)、レモンキューピット(レモン色)、ゴールドキューピット(黄)、イエローキューピット(花弁の先が薄黄色)、などみんなよく似ていますが、微妙に花の表情が違います。また、イエローキューピット・バタフライは、花色は普通ですが、花びらの先が3~4つに分かれていて面白い品種です。今までのビデンスの色は黄色または、ほとんど白に近い黄色系でしたが、他にもピンクハート、ピース(ピンクストライプ)などのピンク系などの品種もあって、これからますます増えてきそうです。

### 【種まき】

種まきからも育てることができます。

まき時：春まき5~6月 発芽適温は20℃前後で、移植を嫌うので直播きやポットまきで行います。

### 【植え付け】

ウインターコスモスは秋に開花した苗が売られていますので、それを購入して育てるのが一般的です。耐寒温度は0度ぐらいで、暖地では花壇で越冬が可能です。植え付けの時期は春か秋に行います。用土は水はけがよければ特に選びません。寒い地域では鉢に植えて冬は室内に入れて育てます。根が凍ると枯れるので、冷涼地では、軒下や腐葉土などで保温します。植え替えは春に行います。

【栽培場所】排水のよい日当たりのよい所で育てます。

【水やり】鉢植えの場合は鉢土の表面が乾いてきたら与えます。花壇の場合は特に与える必要はありませんが、あまり雨が降らないようなら与えます。

【肥料】肥料が多いと、茎ばかり伸びて倒れやすくなるため、特に必要ないですが、植えつける時に緩効性の化学肥料をあたえておくか、生育のようすを見て、春と秋に緩効性の置き肥を与えます。

【切り戻し】かなり草丈が伸びるので6月の梅雨が終わる頃に一度切り戻すと晩秋にこんもりと美しく咲きます。

【殖やし方】播種、挿し芽(4月下旬~6月)、株分け(植え付け時期)

【病虫害】ハダニがつきやすいので、水やりの時に葉の裏にもかけると予防できます。